

福井県感染症発生動向調査速報

<<令和4年>>

<週報> 第34週 (令和4年8月22日～8月28日)

発行日: 令和4年8月31日

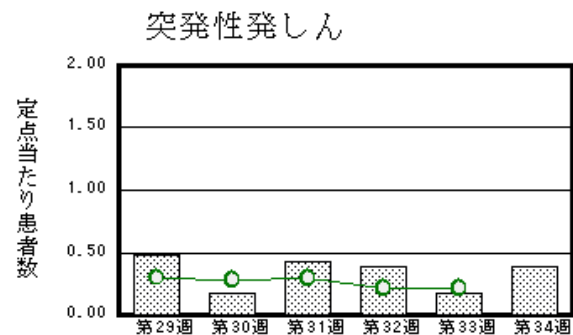
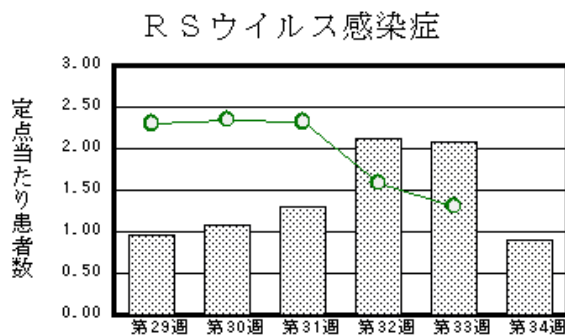
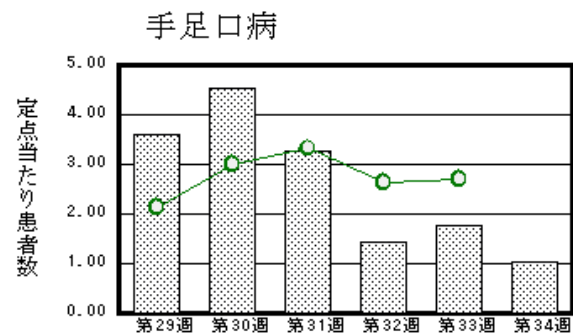
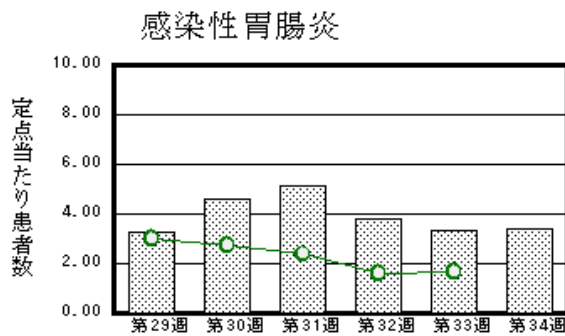
発行: 福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎78名(3.39名) ②手足口病24名(1.04名) ③RSウイルス感染症21名(0.91名) ④突発性発しん9名(0.39名) ⑤A群溶血性レンサ球菌咽頭炎5名(0.22名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(78名) ②手足口病(24名) ③RSウイルス感染症(21名) ④突発性発しん(9名) ⑤A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は78名です。定点当たり報告数は増加しました(3.35名→3.39名)。地域別にみると、若狭地区4.50名、福井市地区4.29名、丹南地区4.00名、二州地区4.00名、坂井地区2.33名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は24名です。定点当たり報告数は減少しました(1.78名→1.04名)。地域別にみると、若狭地区4.50名、二州地区2.33名、丹南地区0.60名、福井市地区0.57名の順となっています。
- 【RSウイルス感染症】報告数は21名です。定点当たり報告数は減少しました(2.09名→0.91名)。地域別にみると、坂井地区2.67名、福井市地区0.86名、二州地区0.67名、丹南地区0.60、奥越地区0.50名、若狭地区0.50名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は9名です。定点当たり報告数は増加しました(0.17名→0.39名)。地域別にみると、若狭地区1.00名、奥越地区0.50名、丹南地区0.40名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名、福井市地区0.29名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2022年第32週(8月8日～8月14日)

発生動向総覧	<第32週> 手足口病の定点当たり報告数は減少した
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	◆病原体情報 病原微生物検出情報(IASR) ◆海外感染症情報 厚生労働省検疫所(FORTH) ◆その他 新型コロナウイルス感染症関連情報について
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：結核（福井市1名）の報告がありました。
 （なお、結核は第33週に二州1名の報告がありました。）
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：報告はありませんでした。
 五類感染症全数把握対象：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（福井市1名）、梅毒（福井市2名、丹南1名）の報告がありました。
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市2891名、福井237名、坂井1030名、奥越661名、丹南2387名、二州1006名、若狭611名、県外・不明16名）の報告がありました。

類型	病名	年齢								
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	非公表	
二類	結核								1	
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症								1	
	梅毒		1	1	1					
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1149	1050	1160	1229	1334	1038	1865	14	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和4年 第34週 令和4年8月22日(月)～令和4年8月28日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(33週)
インフルエンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										137 0.03
小児科 (23)	RSウイルス感染症	6 0.86		8 2.67	1 0.50	3 0.60	2 0.67	1 0.50	21 0.91	48 2.09	4049 1.31
	咽頭結膜熱	2 0.29		1 0.33		1 0.20			4 0.17	1 0.04	224 0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.14			1 0.50	3 0.60			5 0.22	7 0.30	561 0.18
	感染性胃腸炎	30 4.29		7 2.33		20 4.00	12 4.00	9 4.50	78 3.39	77 3.35	5178 1.67
	水痘									4 0.17	173 0.06
	手足口病	4 0.57		1 0.33		3 0.60	7 2.33	9 4.50	24 1.04	41 1.78	8396 2.71
	伝染性紅斑										30 0.01
	突発性発しん	2 0.29		1 0.33	1 0.50	2 0.40	1 0.33	2 1.00	9 0.39	4 0.17	650 0.21
	ヘルパンギーナ	1 0.14	1 1.00						2 0.09	5 0.22	1556 0.50
	流行性耳下腺炎									1 0.04	73 0.02
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			5 0.01
	流行性角結膜炎										119 0.17
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										7 0.01
	無菌性髄膜炎										2 0.00
	マイコプラズマ肺炎		*	*							6 0.01
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										1 0.00
	インフルエンザ(入院患者数)										

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

※1は、2021/2022シーズンの全国の集計は第10週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和4年第34週 令和4年8月22日(月)～令和4年8月28日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	2			2							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	7			6		1		3	1		～11ヶ月									
1歳		1歳	9	4		14		8		4			1歳									
2歳		2歳	2		1	12		6		1			2歳									
3歳		3歳	1			8		5		1			3歳									
4歳		4歳				4							4歳									
5歳		5歳			1	7		2					5歳									
6歳		6歳			1	4					1		6歳									
7歳		7歳				4		1					7歳									
8歳		8歳				2		1					8歳									
9歳		9歳			2	5							9歳									
10～14歳		10～14歳				5							10～14歳									
15～19歳		15～19歳											15～19歳									
20～29歳		20歳以上				5							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計	21	4	5	78		24		9	2		合 計									
前期計		前期計	48	1	7	77	4	41		4	5	1	前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期	0.44	4	0.71	1.01		0.59	***	2.25	0.4		当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	-27	3	-2	1	-4	-17		5	-3	-1	増減数									

***は前期計が"0"のとき